平成 30 年度第１回岩手県医療審議会医療計画部会議事録

日時：平成 30 年６月 25 日（月）15：30～
場所：サンセール盛岡１階エメラルド

〔出席者〕
別添出席者名簿のとおり

〔佐藤医療政策担当課長〕
ただいまから、平成30年度第１回岩手県医療審議会医療計画部会を開催します。
まず、新任の委員の方がおられますので、その紹介をいたします。岩手県国民健康保険団体連合会　専務理事の鈴木浩之委員、岩手県立中部病院　院長の伊藤達朗専門委員でございます。
なお、県医師会の役員改選に伴う医療審議会と医療計画部会の委員の変更については、審議会の委員改選期である10月に行うことを予定しております。
本日は、委員12名中８名が出席しており、「岩手県医療審議会部会設置運営要領」第５による定足数を満たしていることを報告します。
それでは、早速議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、小原部会長にお願いします。

〔小原部会長〕
それでは次第に従いまして議事を進めますのでよろしくお願いします。議題の１について事務局から説明をお願いします。

事務局から議題（１）について資料１により説明

〔小原部会長〕
説明を受けて質問や意見等、ありませんか。

〔伊藤委員〕
資料 1-1、2 ページ目の「病床利用率が低い病棟の対応方針」について質問ですが、利用率は 70%に線を引くということでよろしいでしょうか。

〔佐藤医療政策担当課長〕
それを目安に確認していきたいと考えております。

〔伊藤委員〕
資料 1-1 では低い病棟と書いてありますが､別添１では病床利用率のところが一般病床、療養病床という形で分かれており、病棟ごとではわかりません。一般病棟をすべてまとめてという形になりますか。病棟が３つ、４つある場合はどのような書き方になりますか。

〔佐藤医療政策担当課長〕
確認としては、病床利用率は病棟ごとではなく病院ごとで書くようにしたいと考えております。

〔伊藤委員〕
では「病床利用率が低い病棟の対応方針」とありますが、病棟ではなく病院という解釈でよろしいですね。

〔磯﨑委員〕
当院のように一病棟の中で内容があるのですが、それを分割して書くような欄はありますか。例えば、一病棟の中でも将来的に急性期が何床、回復期が何床という考え方はある、と書くことになるのでしょうか。

〔佐藤医療政策担当課長〕
病床機能の表のところに記載することになります。例えば一病棟 60 床とすると、病床機能報告にあわせて H30 は急性期 60 床で、H37 見込は 40、20 というように書いていただければと思います。
ただ、ここについては、病床機能報告の書き方もあるので、場合によっては 60、60 で書き、会議でこれについて補足してもらう形になるかもしれません。

〔小原部会長〕
調整会議のほうにもこの方針は伝わっているんですよね。

〔佐藤医療政策担当課長〕
第１回目で今回のお話も補足して説明していきたいと思っております。

〔佐藤委員〕
資料の 1-1 の 2 ページ目の平成 30 年度の調整会議の進め方について、29 年と 30 年の２年間で概ね各調整会議を県は取りまとめるという方針で、１回から４回の予定で進められるということですが、資料 1-2 の調整会議の進捗状況によると、調整会議ごとにいくつか違いを感じます。このスケジュール感ですべての調整会議がそれぞれまとまるという考え

方なのですか。
それからもう１点ですが、医療介護総合確保の方針からすると、例えば新たな取り組みとしては介護医療院の話があります。介護資源を医療資源として扱うかは別ですが、この議論について、資料に記載がありませんが、例えば別枠として考えていくのか、この２点について教えてください。

〔佐藤医療政策担当課長〕
まず１点目に関しては、おっしゃるとおり各圏域で状況が違います。そのため、時期については、各圏域でずれるというのは１つあります。中身に関しては、各圏域・各保健所を６月に回り、打ち合わせをしましたが、１回目は勉強会的に今日説明した話などを各圏域で説明し、２回目で各病院から具体的対応方針を出していただく。３回目から４回目でそれをもとにとりまとめるといった方向は、概ね各圏域ともできると考えております。
２つ目の介護医療院の関係ですが、各圏域で、例えば病院においてそのような動きがあれば、調整会議で報告いただき、圏域の議論を進めていきたいと考えております。

〔小原部会長〕
介護医療院についてはどこかでまた別の形で説明が必要ではないでしょうか。

〔佐藤医療政策担当課長〕
これについては、圏域の会議で説明するとか、機会を考えていきたいと思います。

〔小原部会長〕
具体的な説明は調整会議で進めていくと思いますが、決して調整会議を急がせないで議論していただきたいと思います。一番はやはり県民の皆様が安心して医療を受けられるよう、あまり拙速に進めないほうが良いと感想としては思っていますが、現場ではどうですか。

〔磯﨑委員〕
今回の目的は、ある程度どういう医療資源があるか圏域で考えるというところですが、どうしても久慈には医療資源そのものが少ないですから、在宅への移行等が非常に難しくなっておりました。どうやって行動をおこしていくか、どうやって在宅を進めるか、まだ研究の段階ですので、議論を急がないでいただければと思います。

〔小原部会長〕
その他ご意見等はありませんか。
では次に進みます。議題の２「診療所が届出により一般病床等を設置する場合の取扱い

について」事務局から説明をお願いします。

事務局から議題（２）について資料２により説明

〔小原部会長〕
従来ですと地域の保健所に届出していたことになりますが、これはそのまま変わりませんか。

〔福士医務課長〕
事前協議の内容の細かい審査は県庁医療政策室が担当いたします。保健所を通じて医療政策室に出していただく形です。

〔小原部会長〕
新しく病床を作った有床診療所がオープンしたいという場合、まず保健所にいって、保健所で事前の説明が必要ということで、医療政策室を紹介されるということですね。
産科の場合は必要ないと思うのですが、いかがでしょうか。

〔福士医務課長〕
地域医療構想調整会議で意見を聞くということが、今回新たに国の通達で出てきたわけですが、岩手においては、そういった産科の開業はありがたいところでございます。県は周産期医療を推進していく立場ではあるのですが、国の見解を聞きますと一義的には地域として情報を共有しなさいということでございますので、調整会議の協議が県としてはうまく進むよう配慮していきたいと思っております。

〔小原部会長〕
これから有床診療所を作るのは、一般的には難しいということですね。ただ岩手の場合は、産科に関しては絶対数が不足していますから、おそらく今後も産科は希望されるところが出てくるのではないかと思います。在宅などはどうでしょうね。

〔福士医務課長〕
従前は在宅という形でしたが、今回からそれらも含む地域包括ケアという形になって参りましたので、今後の地域のニーズ等を見て、希望する診療所が出てくるのかなと考えております。

〔小原部会長〕
地域医療構想調整会議では、急性期や回復期、慢性期という括りでやっているのでしょ

うが、診療科によるもの、例えば産科などもそういう括りのなかの一つと考えますか。

〔福士医務課長〕
産科と小児科に関するものは急性期的な病床の括りに入ると考えております。ただ、包括ケアについては回復期に区分されるのかなと思います。したがって、包括ケア以外は救急を含めて急性期等に区分されると思っております。

〔伊藤委員〕
へき地医療についても急性期に含めるということですか。

〔福士医務課長〕
届出制度開始以降、へき地医療のために病床を新設した診療所がないため、一般病床なのか、療養病床なのか、内容を見て判断する必要があろうかと思います。

〔伊藤委員〕
一般病床であれば急性期ということで考えていくことになるのですね。

〔伴委員〕
精神科のクリニックに病床を作りたいといった場合は、一般病床ではなく精神科の病床になるのですか。精神科クリニックで療養病床を作る時も対象になりますか。

〔福士医務課長〕
今回の届出設置で認められる病床は一般病床と療養病床ということになっています。
地域包括ケアから救急までの五つの区分に該当するのであれば、そういう届出・設置が可能になるということでございます。

〔伴委員〕
資料 2-4 の 4 ページ、第三の留意事項のアからキのどれか一つの機能を有していると、対象ということですね。

〔福士医務課長〕
おっしゃるとおり、次のいずれかの機能を有している場合に対象になると、通達上はなっています。

〔小原部会長〕
伴委員、精神科の診療所で病床を設置することという趣旨で、よろしいでしょうか。

〔伴委員〕

はい。地域医療構想にせよ地域包括システムにせよ、精神科はまだシミュレーションのような段階なので、介護医療院もそうですが、精神科も検討中ということではないかと思います。

〔小原部会長〕

その他ご意見等はありませんか。また、全体をとおしてご意見はありませんか。

じっくり検討して県民のために何がいいのかということ、調整会議で議論していただければと思います。では、進行を事務局にお返しします。

〔佐藤医療政策担当課長〕

本日は、小原部会長をはじめ委員の皆様、ご審議大変ありがとうございました。

次回ですけれども、予定としては審議会の任期が９月末までですので、審議会のあと 10 月に部会を行うこととして、後日事務局から日程調整したいと思います。

それでは以上をもちまして平成 30 年度第１回岩手県医療審議会医療計画部会を終了いたします。ありがとうございました。

平成30年度第１回岩手県医療審議会医療計画部会【出席者名簿】

区　分	氏　名	所　属	役　職	備考
委　　員	小 原　紀 彰	一般社団法人岩手県医師会	会長	
委　　員	梶田　佐知子	岩手県地域婦人団体協議会	事務局長	欠席
委　　員	坂 田　清 美	岩手医科大学医学部 衛生学公衆衛生学講座	教　授	
委　　員	佐　藤　　保	一般社団法人岩手県歯科医師会	会　長	
委　　員	鈴 木　浩 之	岩手県国民健康保険団体連合会	専務理事	
委　　員	畑 澤　博 巳	一般社団法人岩手県薬剤師会	会　長	
委　　員	藤　原　　敬	株式会社岩手日報社	常勤監査役	欠席
委　　員	松 本　光 一	全国健康保険協会岩手支部	支部長	欠席
委　　員	和 田　利 彦	一般社団法人岩手県医師会	副会長	欠席
専門委員	磯 﨑　一 太	洋野町国民健康保険種市病院	院　長	
専門委員	伊 藤　達 朗	岩手県立中部病院	院　長	
専門委員	伴　　亨	日本精神病院協会岩手県支部	支部長	

（区分ごとに五十音順）